

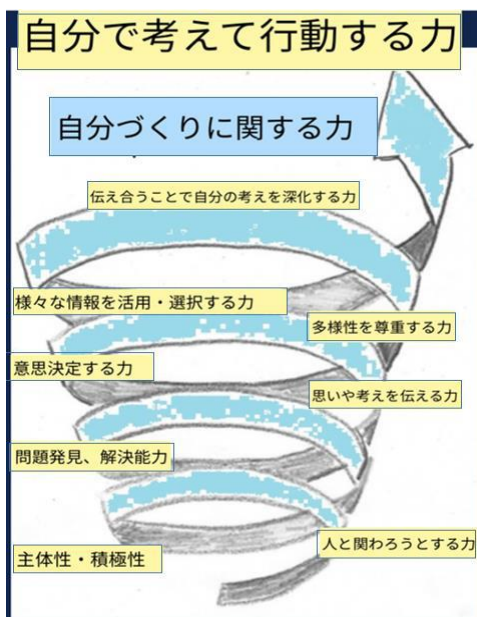
令和4年度川和東小学校 重点研研究計画

1、これまでの経緯

これまで新教育課程全面実施に向けて、授業実践を重ねながら本校の教育課程編成に取り組んできた。本校の児童の実態と育てたい資質・能力について話し合い、「自分で考えて行動できる子ども」を育てていきたいという本校の目指す子どもの姿が決まった。子どもたちに必要な資質・能力については、自ら学習に向き合う力、周りに流されない主体性、意思決定力などが挙げられ、「問題発見・解決能力」と「自分づくりに関する力」を本校が育てたい資質・能力の二本柱としてグルグルを作成した。（昨年度に「自分づくりに関する力に一本化）グルグルを活用しながら、各教科・領域が育てたい資質・能力と照らし合わせながら授業実践と検証を重ねて教育課程を編成した。令和2年度は、コロナ禍の中ということもあり、各学年で指導と評価を意識しながら実践提案を行い、成果と課題を共有していった。令和3年度は、「自分で考え行動できる子どもの育成」のもと、指導と評価の充実を目指して、「子どもの姿に視点を当てた指導と評価の充実を目指して」をサブテーマとし、授業の中での具体的な子どもの姿に視点を当てて研究を進めてきた。また、国が進めるGIGAスクール構想の初年度となり、全職員がICT活用を学ぶ必要があった。「自分で考え行動する子ども」を目指していく中で、ICT活用を積極的に取り入れていくことは、子ども達の主体的な学びの可能性を広げていく大きな手立てになると考え、職員のICT研修や研究を研究計画の中に取り組んできた。

昨年度の研究を通して、本校の身に付けさせたい資質能力の本校で身に付けさせたい資質能力の中で、「思いや考えを伝え合う力」「伝え合うことで深化させる力」「問題発見・解決能力」の3つの資質能力が育っていないことがわかった。「思いや考えを伝え合う力」「伝え合うことで深化させる力」この2つの資質能力を育てていくためには、問題解決的学習が不可欠である。また、この2つの資質能力を身に付けさせることは同時に「問題発見・解決能力」の育成にもつながってくる。そこで来年度は、子ども自らが学びをつくり解決していく子どもの姿を目指して研究を進めていきたい。

2、本校で育てたい資質能力



これまでの、本校の育てたい資質・能力は「問題発見・解決能力」と「自分づくりに関する力」の2本立てだったが、昨年度から「問題発見・解決能力」は「自分づくりに関する力」の中に含まれるという考え方で一本化する。付箋の数を整理することで、より育てたい資質・能力を意識して授業を行っていくことができる。

※詳しくは別紙参照

3、 研究主題

自分で考え行動できる子どもの育成

～自ら学びをつくり解決できる子どもの姿を目指した学習過程の工夫～

ここでいう「自分で考え行動できる子ども」というのは、「子ども達が問題を見つけ、学習計画を立てていく姿」「子ども達が主体となり、話し合いながら問題解決していく姿」「お互いの考えや思いを尊重し合う姿」「子ども達自身が自らの学習をふり返って次の学習に向かおうとする姿」などである。この姿は、まさに「問題解決的学習」を充実させることで見られる姿である。問題解決的学習を充実させることは「思いや考えを伝え合う力」「伝え合うことで深化させる力」「問題発見・解決能力」この3つの資質能力を育てていくことにも繋がってくると考える。そこで今年度は、「自ら学びをつくり解決できる子どもの姿を目指した学習過程の工夫」をサブテーマとして、自分で考え行動できる子どもを具現化するために本時だけではなく、単元全体の学習過程を工夫し、子ども自らが学びをつくり、課題を解決していけるような授業づくりの研究を進めていきたい。

4、 研究仮説

子ども自ら問題を発見し、解決していくことのできる学習過程の工夫をすることで、自分の考えをもち、思いや考えを伝え合い、そして受け止め、自分の考えを深化していく子どもの姿が見られるだろう。

指導（学習）計画・・・予想される学習活動のことを指す。

学習過程・・・実際の子どもの学習活動を指す。

5、 研究内容

○子ども自らが学びをつくりだしていけるような学習過程の工夫や教師側の手立てなどを学年研や指導案検討を通して教材研究、事前検討、事後検証をしていく。

6、 研究方法

○研究授業（事前授業）・研究会を伴う研究を行う。

○ICT活用については授業の中で有効な場合活用する。必須ではない。

○授業研究会は7月から12月までに4回、14教科・領域の中から学年で1教科選択し、講師の指導を受けて研究を深める。

○授業研究会は、学年提案として、部会で指導案検討する

・各学年で教科を決める。1学年1教科・領域で学年初めに分担・調整する

・授業研究会は、学年提案とし、当該学年と各学年、個別、級外を半分に分け部会に参加し、指導案検討、授業参観、事後検討を行う。

※感染症の状況に応じて授業の参観方法を変更する可能性あり。また、クラスの実態に合わせて学年で相談し自習体制をとる。

・代表者（講師の先生あり）以外の授業公開は事前にミライムで知らせ、参観できる先生は参観する。

授業日	指導案検討日	教科・領域	授業学年	授業者	部会参加者
7月14日	6月13日	国語	6年		
		図画工作	3年		
9月15日	7月21日	家庭科	級外		
		図画工作	個別支援級		
11月10日	10月4日	生活科	1年		
		理科	5年		
12月1日	11月4日	算数	2年		
		算数	4年		

7、 本校の資質能力について

自分づくりに関する力	自分づくりに関する力の中に含まれる資質能力
主体性・積極性	願いを持つ
人と関わろうとする力	地域を愛する気持ち
問題発見・解決能力	好奇心 試行錯誤する力 解決策を実行する力 結果から学ぶ力
思いや考えを伝える力	感じたことを言葉にする力 正しい言葉遣い 順序立てて正しく伝える力 相手の思いを受け止めて聞く力
意思決定する力	自己を理解する力
多様性を尊重する力	他者を理解する力
様々な情報を活用・選択する力	事実を解釈し、自分の考えを形成する力
伝え合うことで自分の考えを深化する力	メタ認知

